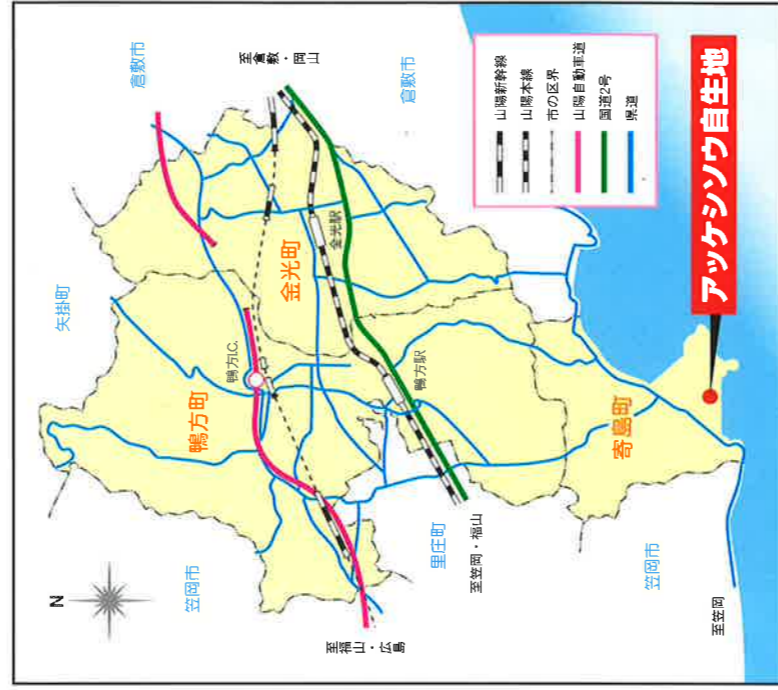


# アッケシソウの歴史

## = アッケシソウを守る会のあゆみ =

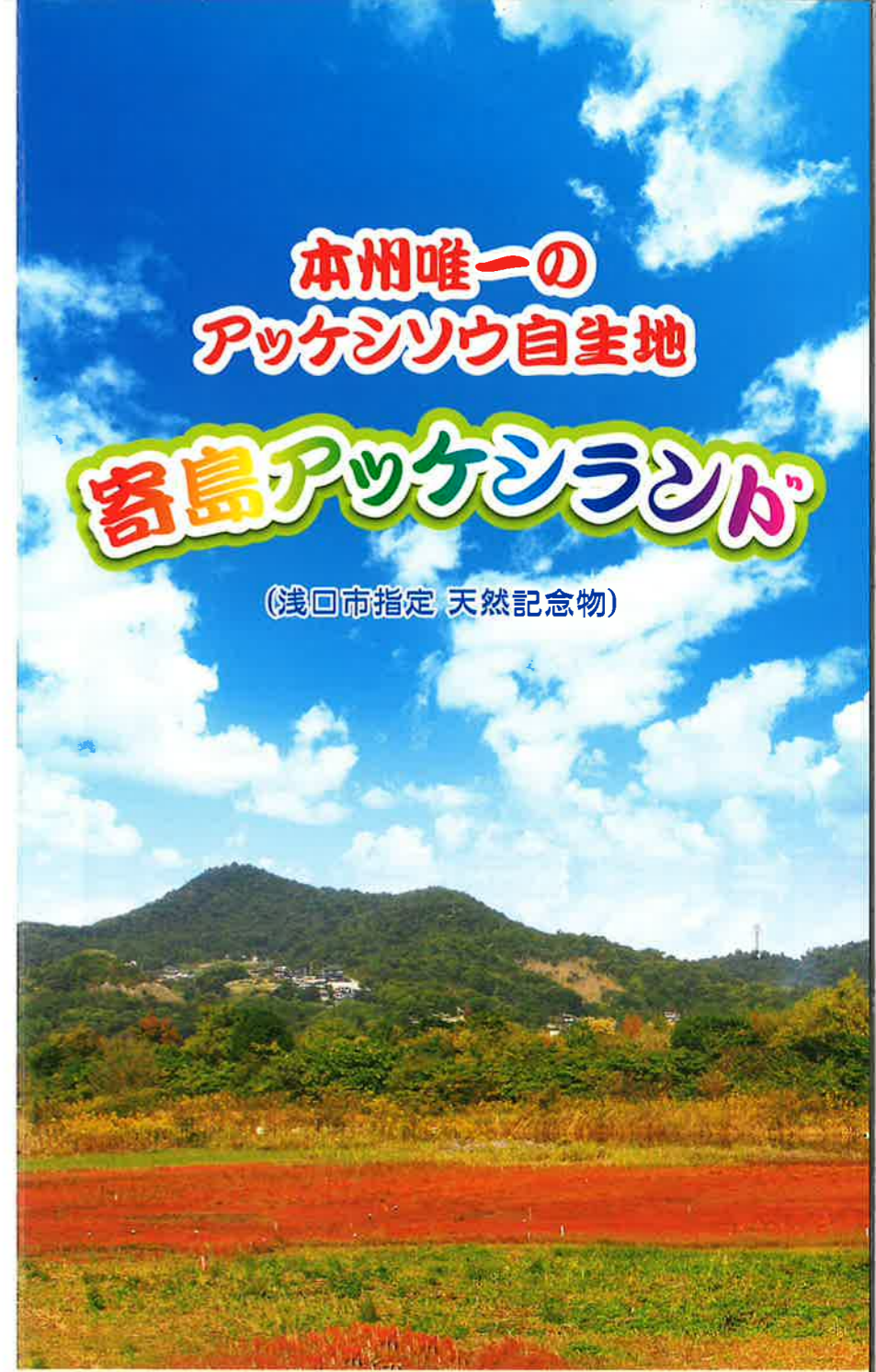
- 1891年 北海道厚岸町牡蠣島で発見  
町名に因んでアッケシソウと命名
- 1913年 愛媛県新居浜市で発見
- 1921年 厚岸町牡蠣島のアッケシソウを国の天然記念物に指定
- 1975年 鳴門市高嶋塩田で発見
- 1985年 瀬戸内市牛窓町錦海灣で人為的に植栽
- 1986年 徳島県・香川県内に生育地を確認
- 1991年 浅口市寄島干拓地内で生育を確認(未発表)
- 1994年 厚岸町牡蠣島のアッケシソウは、国の天然記念物指定解除
- 2003年 浅口市寄島干拓地内で群生地発見
- 2004年 寄島町の天然記念物に指定  
同時に「アッケシソウを守る会」を結成して保護活動開始
- 2006年 浅口市の天然記念物に指定
- 2009年 岡山景観百選に選ばれる  
岡山県民文化大賞に選ばれる
- 2009年 アッケシソウを守る会 設立5周年記念式  
(「寄島のアッケシソウ」発刊)
- 2010年 愛称が寄島アッケシランドに決まる
- 2012年 ロータークラブ「第一回きらり一番星アワード」銀賞受賞
- 2013年 浅口未来デッサン認定  
「フラワーロードづくり」  
ハマユウ・ハマナスの栽植  
A地区にヨリシマアッケシソウキバガが発生
- 2014年 アッケシソウを守る会 設立10周年記念式  
記念植樹(サンゴジュ、ハナミズキ)
- 2015年 フラワーロード看板設置
- 2016年 A地区に説明看板、各地区表示看板設置  
C地区に木道設置

(地名は現在名)



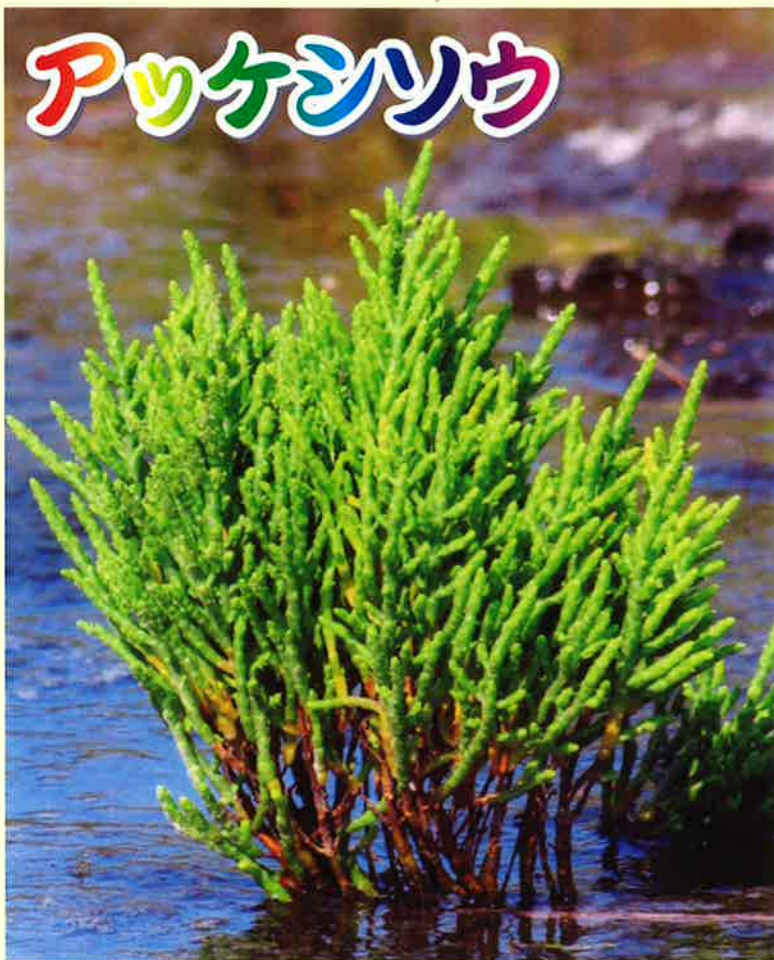
# 本州唯一の アッケシソウ自生地 寄島アッケシランド

(浅口市指定 天然記念物)



発行 浅口市教育委員会  
 編集 浅口市寄島町アッケシソウを守る会  
 事務所 浅口市教育委員会事務局 寄島分室  
 (連絡先) 電話 (0865)54-3110

# アッケシソウの1年間の生育



名前の由来 1891年に北海道厚岸町の牡蠣島あつけし かきで発見された。アッケシソウはその町名をとり命名。  
 《別名》 サンゴソウ・ヤチサンゴ・クラブグラス  
 科・属 ヒユ科・アッケシソウ属  
 生態 \*海水の流入する塩湿地に生育する1年草  
 \*茎は多くの枝に分かれ草丈は10~40cm  
 \*葉は肉質で、鱗片状に退化  
 \*花は夏から秋にかけて、一節に3花ずつ両側につき、各花の中央部に白い雌しべ雄しべが見られる。  
 \*秋には、全体が緑から紅色に変わり、その形状から別名サンゴソウと呼称  
 分布 北半球に広く分布し、日本では現在北海道・岡山県・香川県で生育を確認  
 (浅口市寄島町が本州唯一の自生地)  
 絶滅危惧ランク 絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険性が増大している種)

発芽期



紅葉期

真紅に紅葉したアッケシソウ\*10月中旬が見ごろ\*



生育期



結実期



開花期

\*9月中旬が満開\*



拡大